

令和 6 年度第 1 回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和 6 年 5 月 30 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 20 分
○場所	仙台法務局名取出張所 2 階 会議室 4
○出席者（9 名）	菊池 晃子委員、菅原 朋美委員、和栗 幸一委員、伊藤 恵子委員、本郷 一浩委員、久米 智美委員、金野 智津委員、鈴木 雅行委員、齋藤 勇介委員
○欠席者（1 名）	入間川 徹委員
○事務局出席者	教 育 長 瀧澤 信雄 教育部長 斎藤 正光 生涯学習課 課 長 佐藤 徹也 課長補佐兼係長 菊地 栄一 公民館係長 柳館 麗美 図 書 館 長 加藤 孔敬
○傍聴人	なし

会 議 概 要

<委嘱状交付>

開会に先立ち、異動のあった後任委員への委嘱状を交付。名簿順に名前を呼び、委員起立。
教育長より手渡し。

1 開 会 進行：菊地課長補佐兼係長

2 あ い さ つ

瀧澤教育長

昨日から今日にかけて相互台と愛島台で熊の目撃情報が 2 件ある。万が一を考えて、いろいろ対応しているところである。話は変わるが、コロナが 5 類に引き下げられてから 1 年が経過した。社会教育の様々な活動においても、元に戻ったり、活発に行われている状況が最近見受けられる。公民館や図書館の来館者も増加傾向が見られる。全 15 学校区に設置している本部の地域学校協働活動も活発に行われている。この後事務局から説明申し上げるが、委員の皆様にはそれぞれの立場から忌憚のないご意見をいただきたい。

鈴木議長

今、コロナ 5 類となり 1 年という話があった。社会教育では、企画とか講座とか元通りになり、市民にとって充実した活動が行われていると感じる。また学校教育でも、先日地域の運動会があったが、朝、1 年生と 2 年生の男の子が運動会の歌を歌いながら登校していた。学校に行ってみたら、子供たちが精一杯大声で応援し、保護者の方も同様に大声で応援していた。子供たちが充実した活動が行われており、これから行われる高総体でもそういう姿が見られるのかなと思う。本日もよろしくお願いしたい。

会議成立の確認

名取市社会教育委員会会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

資料訂正

差替え資料の説明。

資料2、1ページの1マナビ講師派遣事業の(2)、マナビ宅配便の登録講師数及びその増減、講座数及びその増減を訂正。

資料3、1ページの1マナビ講師派遣事業の(2)、マナビ宅配便の講座数の増減を訂正。

3 議 事

名取市社会教育委員会会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議事進行

(1) 諮問事項

令和6年度社会教育関係補助金交付団体について資料1

資料1について説明（説明員：生涯学習課 菊地課長補佐兼係長）

鈴木議長

ただいまの説明についてご質問、ご意見等いかがか。

なければ、諮問事項、令和6年度社会教育関係補助金交付団体については、原案のとおり承認することに決定する。

次に(2)報告事項に入る。令和5年度社会教育関係事業報告について事務局より説明をお願いしたい。

(2) 報告事項

ア.令和5年度社会教育関係事業報告について

資料2について各担当が各々説明（説明員：生涯学習課 菊地課長補佐兼係長、
柳館係長、加藤図書館長）

鈴木議長

ただ今の説明で生涯学習青少年関係、公民館、図書館の内容について質問ご意見等いかがか。

講座も増えて受講者数も増えているという説明であった。まなびフェスティバルも大盛況だったということである。

久米委員

(P2 自主企画講座) 講座を開いた場所が公民館ではなくカフェであるが、どういう経緯だったのか。

事務局（菊地課長補佐）

調べたところ、愛島笠島にもともと古民家があり、令和5年の4月に改装してオープンしたカフェである。毎週水曜日のみ営業で10時30分から16時まで営業している。その後、16時から

令和6年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和6年5月30日（木）

17時までは子供食堂として、近隣の大学生などがボランティアとして運営されてるとのことである。

フリゴレスについては、もともと本店が柴田町にあり、2号店として名取店ということでオープンした。那智が丘の入口のところにローソンがあり、その隣でコーヒー豆を販売している店である。今回、企画をしたLadybirdがフリゴレスと交渉し、おいしい珈琲の入れ方を講師としてお願いし、会場も使わせていただいたという経緯である。

鈴木議長

他にいかがか。

齋藤委員

令和5年度公民館事業報告で、コロナ禍が過ぎ、令和5年度は人数が全体的に上がっており利用率も増えてきていると感じたが、地区民体育大会の方では、開催しないという地域が増えてると感じた。これは令和5年度のコロナ明けということで様子見で開催しないようになったのか、それとも、コロナ禍を経て、学校の働き方改革等も含めて、共催での実施が難しいという中で、今後も継続してこの方針になるのか伺いたい。

また、新春のつどいで、私の住んでるゆりが丘地区では、今までのお食事会、新春会から、小学生と小さい子たちも交えた形にしようということで、飲食が中心ではなく、遊びのブースやお祭りのような形で新春を皆で楽しむような形に変わったところもあり、アフターコロナになってからの変化、コロナ禍を経験して方向性が変化してきたと感じている部分があれば教えていただきたい。

事務局（柳館係長）

令和6年度についても、開催が難しいと判断している施設が多い状況である。地域との調整であったり、学校との調整の中で中々難しいとの判断である。一方の新春祝賀会では、ゆりが丘公民館で実施したものが大盛況で、ゆりが丘公民館のやり方を後から各館が聞いて驚いたというのが正直なところである。対して、愛島公民館では子ども達が参加しやすい環境を作って実施した。各館、ゆりが丘や愛島と情報交換しながら、多世代を含めた楽しめる空間づくりを模索したいとのことである。

瀧澤教育長

名取の地区民大会の特徴として、小学校の運動会と合同の運動会というのが1つの特徴だったが、コロナで3年間両方中止となった後の再開である。学校でもコロナの中で小規模の運動会を少しずつやってきた。多くは、午前中で終わらせるということでやっていた。そこで地区でやろうとすると、午前中の運動会に地区の種目を入れるのが難しいとのことだった。地区の公運協などの意見の中には、中々選手が集まらないので、参加しやすいようなイベントを企画したらよいのではないかという意見もあった。

一方、何とか学校の方で元のように地域と一緒に体育大会をやりたいということで話合いをしている地区もある。コロナ明けの過渡期ということもあり、見直しを含めて、また元のような形には戻っていない状況である。

和栗委員

名取が丘の事例では、運動会のために選手を募集したが、一般の方の参加者が、数名しか応募がなかった。これでは駄目だということで、小学校にも迷惑がかかるので、今年は小学校で単独

令和6年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和6年5月30日（木）

で実施した。コロナによって交流がなくなったために、出不精になった。名取が丘は高齢者が多いので、大きな大会になると、こういうのに参加する種目も限られてくるということで、結局中止という形になった。

鈴木議長

名取が丘の実情だが、各地区も同じような状況になってきているかもしれない。他にいかがか。

久米委員

うち的那智が丘の球技大会は、各5丁目まで5チームあるが、コロナ明けあたりからか、丁目単位で参加するかしないかを賛否を取り参加する形となった。地区の会長さんの取りまとめ方もあると思うが、参加者が出てこなくなった。

和栗委員

結局、取り纏める区長さんも高齢化している。そうすると、柱になる人が、やる気がないって言えば失礼だが、そういう意欲がないと集まらなくなってきている。

鈴木議長

出不精とか、コミュニケーションのところの問題が出てきている。他にいかがか。

本郷委員

どのような大会をやっても、高齢者70代以上の人に参加しなければ、小さな大会になってしまう。そういう方に声がけすると参加するが、その人たちがいないと大会にならない。市役所で色々なイベントをやっても、集まって来る半分以上の人は70～80代の人たちである。だから、50代とか働き盛りの人たちが、色々な行事に参加してもらえるかが課題である。高齢者がいないと大会にならない。

伊藤委員

私は震災前までは閑上で今は増田にいるが、閑上もだいぶ様変わりした。町内会の場所によって、出る、出ないが結構ある。個人的に閑上大漁唄込み踊とかしていると、不二が丘小学校にお世話になったときも、地区と団体も、我々自身がこの閑上にいないで、他所にいて閑上公民館に今も関わっていると、遠隔でやっているところもあり、別な形でしていくのか、公民館も色々な形で色々な事業やっているが、やはりそういったところで集まってくるのに、こちらの地区はいっぱいいるけれども、ちょっとこちらの方が、ちょっと手薄になってるとか、そういった形があったり、うちで団体を持っているのでそちらも高齢化が進んで、なかなか継承していくのに大変である。

震災から13年経つと、高齢化して辞めたり、あと地区が閑上以外にいるのがほとんどなので、なかなか難しい。運動会とかも、地区でやったことはあるが、その後コロナ禍となり、そこが難しくなり、今は会員募集のところで、閑上小中学校の校長先生とかにお願いに行ったりなど、色々な形で地区と交わるようにしているが、中々現状は難しい。

齋藤委員

ゆりが丘公民館の方でも去年から球技大会に親子参加型のドッジボールが入ったが、それ以外の種目は、皆さんの地区と同じで人が集まらなかったり、固定のサークルとか、地域によっては年齢差があったりする。逆に中学生とか入りたいっていうと、動ける子が入るとずるいから何人までとか、意外と勝ちにこだわる。昨年親子参加型のドッジボールが入ったとき、子供たちにはそういうのが一切なく、違う地区が少ない人数のところは、他の地区の子たちが進んで、手伝い

令和6年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和6年5月30日（木）

で入ってその試合を楽しみ、負けたチームが足りなければ、そっちに入ったり、足りないところを全地区で子供たちが入って、結果、何試合も楽しんで楽しかったねで帰った。

子ども達の姿から、趣旨を勝敗だけじゃなくて、交流というものの中に差し替えたり、個人種目にも力入れてるようなお話もあったので、個人で入って全然関係なく楽しめるような種目を出したりという過渡期にあるのかなと思う。

子供たちが入ることによって、大人も何となく子供から学んだ気がするっていうようなところも含めて、いい影響をもらいながら、子供が入ることでもしかするとその子供たちが大きくなったときに、地域活動に積極的に入る、若い世代の方々も増えるのかなと思うと、そういうところを育てていく視点もこれからは必要かと思う。

瀧澤教育長

今年度の取組として、新たに多世代交流事業を取り組む予定としており、それぞれの公民館でどのような取組をするかがまだ決まっていないので、6年度資料にも入っていないが、予算を各公民館10万程確保し、今話題になったような子供から高齢の方まで含めた多くの世代が交流できるような事業を各公民館で取組んでいこうということをスタートしようとしている。

一方、地区民体育大会では、可能であれば実施の方向に向けて教育委員会として声をかけている。今度、高館地区では、ほぼ従来の小学校と地区民の合同の運動会が予定されている。元のような形で全部の地区で戻ってやるっていうのは中々困難なのかなという感じもしている。

世代交流事業については、具体的な中身はまだ決まっていないが、そういう取り組みを行うということだけお知らせさせていただく。

伊藤委員

自分は閑上公民館に携わってて、いっぱい頑張っている割には1つの事業の回数が少ないため、閑上公民館がなんか少ないと感じたが、回数・シリーズの問題だとわかり、ちょっと安心した。

和栗委員

先日、公民館主催で夜の星を見る会を実施した。地域住民、子供から大人まで40名近く集まった。夜景も結構綺麗で人気がある。そういうのを通して新しいものに取組んでいけばいいと思う。

ただ、公民館の職員の勤務で、毎回立ち会っていただいて申し訳ないと思っている。館長の場合だと、1月から6月にかけて、各町内会の役員会から何から何まで出っ放しである。多分、そこら辺のことを考えると、負担になるのは申し訳ないという思いである。働き方改革としてはどうなのか。

瀧澤教育長

公民館、どうしても夜間の、或いは土日の事業などもあり、休むようには配慮はしている。

ただ、続けば疲労が溜まるかもしれないが、その辺は生涯学習課の方では色々調整はしている。基本的には時間外に出た分は振替で対応している。心配していただき感謝する。

和栗委員

夜間でも大丈夫なのか。

事務局（佐藤課長）

一応、夜間といったこと等での講座を開催しないと中々集まらないということで公民館長会議等でも、可能な限りそういった土日夜間の講座も開催するよう、生涯学習課の方ではお願いをしているという実態もあるので、相談していただければ開催可能かと思う。

伊藤委員

もう一つ、閑上公民館で「お出かけ公民館」という講座があり、前から他の公民館でも「移動公民館」という形であると思うが、こういったものを増やして欲しい。今回、「お出かけ公民館」ということで、春日館を利用してやったりしているが、来れない人たちのために、公民館の方が動いて、地域の住民、色々な高齢の方でも集まれ、集まりやすい、そんな環境がもっとできるとよい。子供も保護者の方がいないと駄目だが、高齢の方が元気になってもらわないと。公民館が色々動いてくれてっていうところも考えていただくと良い。

事務局（佐藤課長）

今の件については、閑上公民館で昨年、出張公民館として職員が現地に出張して講座を開いている動きも見られた。その前には名取が丘公民館でも、集会所等に出張して、中々公民館に来たことがない人、来れない方のために検討して試験的に実施している状況である。今後も、館長会議等にて事例を紹介しながら各館で対応していければと考えている。

鈴木議長

次に14から20ページの図書館の方で委員の皆様から質問ご意見を伺いたい。

久米委員

本が増えたということだが、全体的に増えたのか、例えば子供向けが増えたとか、ジャンル別など、どのように増えていくのか。

事務局（図書館長）

蔵書の構成としては、主に利用者の利用状況もあるが、世の中の本の動向も踏まえトータル的に増やしている。

久米委員

利用者からのあの本を入れて欲しいという声も反映しているのか。

事務局（図書館長）

お見込みの通りで反映している。

金野委員

年代別の貸出で、13歳から15歳が13.4%もすごい増加しているが、聞き逃したかもしれないが、この辺の要因はあるのか。

事務局（図書館長）

図書館友の会の中に高校生がPOPコンテストをやりたいとのことで、おススメの本の紹介を行う仕掛けをやったり、図書館の方でもそういった本の紹介本を広く募集したり、一遍通りに本を買っておくっていうことと、世代を超えてお勧めしたい本を自由に紹介できるようにした。

他に、仙台高専、宮農、増中の図書委員の方たちに図書のコーナーを組んでもらって、同じ世代の人たちの共感を得るということを実施した。

鈴木議長

若い世代を取り込むという企画を意図的にされているということか。

他にいかがか。なければ、続いて伊の令和6年度社会教育関係事業計画について説明をお願いしたい。

イ. 令和6年度社会教育関係事業計画について

資料3により説明（説明員：生涯学習課 菊地課長補佐兼係長、柳館公民館係長、
加藤図書館長）

鈴木議長

イについて、ご意見、ご質問等いかがか。

菊池委員

図書館も公民館の事業も共通かもしれないが、非常に良い事業が目白押しである。学校では、最近、一斉授業と、子供たちが自分たちで考えて何かを答えを見つけていくっていう授業の組み合わせを行うことが多くなってきている。私たちが一斉に授業を教えているときよりも、自分たちで考えて何かをやる方が、主体的にモチベーションが上がっているなって感じることが多い。企画の中に、参加者の方に教えるものの他に、その方々が考えたもの、またはその方々で企画するものが入ると、集客が増えていくのではないのかと思う。

伊藤委員

地域学校協働活動事業であるが、現在、閑上小中学校の1年生などに、公民館事業の中で立ち上がった地域団体が昔遊びで毎年入らせていただいている。その間、子供たちもそうだが、我々活動する側も相乗効果ですごい若返って、すごく生き生きになる。子供たちも、結構楽しみにしてくれている。色々な形で交流ができるのはお互いにすごく良くなる。継続して続けていきたい。

もう一つ、公民館まつりの際、小学校の先生で、オペラのプロの方とか色々いて、バンドやってる先生などが公民館まつりとかに来て、その他地域の湊神社のお祭りとかにも、参加していたり、そういった地域と学校、公民館と三位一体になって、垣根を取り払ってすごくいいなと思っているので、今後も続けて欲しい。

瀧澤教育長

閑上の件は野崎先生で、オペラで活動もしてる方である。毎年公民館まつりで声を掛けていただいている。山手の公民館まつりでは、中学校の吹奏楽の演奏に声かけていただいたりとか、子供たちとか学校が公民館活動に関われるというのは子ども達にもプラスである。先ほどのレッツ理科読でも中学生、高校生がボランティアで来てくれており大変ありがたい。可能な限り、そういった関わりもできるよう教育委員会でも声がけしていきたい。

本郷委員

昔、愛島北目出身の閑取がいて、前頭筆頭まで上がった桂川（檀崎質郎氏）という人がいた。その後居合道の宗家になった。山形県村山市の居合神社に祀られている。そういう愛島の自慢の人もいるので、そういう人を発掘して欲しい。

瀧澤教育長

市民体育館の前の芝生のところに顕彰碑がある。居合道を披露した方でかなりすごい方の方である。ただ、知名度はそれほどないかもしれないが、そういう郷土の活躍した方を学校教育や社会教育の中で活用できるところもあるかもしれない。

和栗委員

移動研修についてお尋ねしたい。市のバスを使って研修するが、中々予約が取れないってことで、どれくらい前まで計画すれば良いのか。バスは何台あるのか。

事務局（柳館係長）

市のバスは一元管理で2月位に本庁の方から照会が来る。その際、翌年度使うバスの予定を生涯学習課で調整をしている。質問の件では、キャンセルになったことで、すでに他の行事との調整が終わっている段階で、その後の調整だったので予約が難しかったと思う。バスは29人乗りが2台、34人乗りが1台の計3台あるが、運転手付きは2台である。

和栗委員

実際にレンタカーを頼むと半日で4、5万で借りられるが、運転手つきだと7万くらいになる。そして25人を超えると、30人とか大きなバスになると10万を超えるので市のバスを使わせていただきたいので質問させていただいた。

鈴木議長

他にいかがか。

久米委員

全体としての質問で、熱中症対策として、突然倒れたりするので、どのような対策があるのか。けがなどはイベント保険で適用になるが、熱中症は適用にならない。基準というか対策があれば。

事務局（菊地補佐）

我々イベントする際には、教育委員会で定めている熱中症対策の指針がある。それに基づきイベントをやる際に指針として、イベントを実施してるところである。その他に熱中症モニターを各公民館1台ずつ配備しており、当然我々の方でも持っており、イベントやる際には持ち運び、会場の中にモニターを設置して、アラートが自動的になるようになっている。危険とか注意とか警告とか、アラームが鳴るので、随時検討しながら、運用を行っているところである。

久米委員

公民館内で行事する場合、それを貸してもらって見れるという形になるのか。

事務局（柳館係長）

随時貸し出しという形態はとっていない。借りれるかどうかは館に確認が必要である。

久米委員

行事を立てて、例えばインフルエンザで学級閉鎖になったとかって理由づけだと、中止のめどが立つが、あまりの暑さで止めましたというのが周知できない事があった。

事務局（柳館係長）

昨年度から熱中症アラートが出された時には、市でもクーリングシェルターの活用を呼び掛けていた。判断がつかない微妙な暑さの時には、常時公民館でも使っているというわけではないのでご相談いただきたい。

事務局（菊地補佐）

参考までにモニターはAmazonやYahooショッピング、ホームセンターでも取り扱っている。団体の方で余裕があるようならそういった方法も考えていただければと思う。

鈴木議長

他にいかがか。なければ、報告事項、ア令和5年度社会教育関係事業報告について及び令和6年度社会教育関係事業計画については、事務局の説明、報告のとおり承認としてよろしいか。

異議がないようなので、報告のとおり承認することに決定する。

令和6年度第1回名取市社会教育委員の会議 令和6年5月30日（木）

次に、(3) 協議事項に入る。令和5年度公民館事業評価について、事務局より説明をお願いしたい。

(3) 協議事項 令和5年度公民館事業評価について

資料4により説明（説明員：柳館公民館係長）

鈴木議長

ただいま、事務局より、公民館事業に対して、その評価あるいは取組、特色を紹介していただいた。今紹介あった点について、何か質問ご意見等いかがか。

なければ、その他について事務局いかがか。

(4) その他

事務局菊地よりお知らせ

1 点目、仙台管内の社会教育連絡協議会の総会及び研修会の案内。

2 点目、生涯学習推進協議会の会議についての案内。

社会教育委員の皆様には、生涯学習推進協議会の委員として併せて委嘱させていただいている。会議は年2回程度で、本日引き続き第1回目の会議を実施する。

3 点目、青少年健全育成市民会議主催の市民のつどいの案内。

（議事一切を終了。鈴木議長、降壇。）

5 閉 会

15：20 終了

以上